

## 海外留学キャンパスレポート

法学部政策法学科 四年  
JAMK 応用科学大学 交換留学 田仲曜

私の大学はフィンランドの首都ヘルシンキから高速列車で3時間程の場所にあります。Jyvaskylaは小さな街ですが、英語が通じないということはまず無く、国の英語教育が浸透していることがうかがえます。気候は寒いです。11月頃から雪が降り始め太陽も3時頃には沈み始めます。マイナス20度を下回る日もあります。夜は星がたくさん見えます。15分ほど歩くとオーロラが見れるスポットがあります。



(アパート前にいたムーミンです)



(友人たちと自分の国の料理を持ち寄りました)

留学中はアパートを三人でシェアして暮らしています。私のフラットには中国人とフランス人が住んでいます。とてもお喋り好きで気が付けば2, 3時間話し込んでいることもあります。アパートには共用の洗濯乾燥機がありオンラインで予約して使用します。インターネットは使い放題です。サウナもあり決まった時間に行くことができます。

フィンランドでは一つの大学内で英語とフィンランド語どちらで学位を取得するか選択ができます。そのためフィンランド人と授業が被ることはあまりありません。ネイティブスピーカーが少ないこともこの大学の特徴です。ヨーロッパ各地からやロシアから学びに来ている生徒が多く、各地方の英語の訛りもあります。はじめは聞き取りが大変でした。私の学部には日本人は一人だけです。分からないこともあり周りにとても助けられています。

授業は応用化学大学ということもあり実践的なものが多いです。業務に使用している資料を基に授業を進める、ケーススタディーを用いるなど座学だけの授業はありません。ほかにもオンラインコースがありPCで講義を視聴し課題をこなします。

応用科学大学は日本で馴染みのない言葉です。私も初めは理系の大学だと思っていました。応用科学大学は日本の専門学校のように普通の大学より実践が多い大学と考えてください。もし座学でしっかり勉強しようと考えているのであればもう一度学校を探してみてください。

私が日本でしておくべきだったと思うことは、質問の仕方です。「どうしたらそんな質問浮かぶの?」と思います。ものの考え方についても同様です。ほかの生徒の持つ違った視点からの考え方を聞いていつも感心しています。日本だと先生・教授にたいして意見をぶついたり疑問を持ったりする機会が少ないので難しいですが頭の中で考えることだけでもしておけばよかったなと思います。



(私の通う JAMK 応用科学大学です)



(アパートからバス停までは徒歩5分くらいです)